

沖縄から先生がいらっしゃいました。

沖縄からたくさんの先生方がパラオに来られていました。これは「教師海外研修プログラム」というもので、将来JICA隊員になってみたいと考えている先生方が、実際に現地に行ってJICA隊員の活動を見学しに行くというものです。アルモノグイ小学校にもそのうちの一人の先生が来られ、子ども達に沖縄の文化を紹介されていました。沖縄とパラオは共通の文化が多く、例えば昔、沖縄の人が持ち込んだサーターアンダギーが、「タマ(玉)」という名に代わって、今もパラオのおやつとして存在しています。

沖縄の先生はその後、日本から持ってきたひらがなのカルタを使って、ひらがなを紹介していました。子ども達は、見本のひらがなと同じものを床に散らばったカードから探すのですが、似たような形の「つ」と「し」などで混乱していました。横から見ていて、改めて、日本語って難しいなあと思いました。



パラオだより

第14号

練りきり教室をひらきました。



みなさんは「練りきり」を知っていますか？茶道で、抹茶といっしょに食べることの多い和菓子の一つです。アルモノグイ小の子ども達と一緒に、これを作りました。基本的な形の一つである「桜」に今回はチャレンジしました。みんな上手に作れていました。また、その後、学校の調理員さんにも作り方を教えました。この写真は調理員さんが作った「桜」です。とっても上手ですね。

地域と文化

バイ

バイ(Bai)とは、昔のパラオ人が使っていた集会所のことです。日本の合掌造りの家みたいです。先日機会あって、アイライ州にあるバイを見てきました。レプリカはあちこちにあります。作られた当時の姿のものはこのアイライ州のものだけだそうです。



正面から見るとこんな感じですよ←パラオの伝説に関する絵が美しく描かれています。この中では、戦争・漁業などに関する話が話し合われていたようで、当時は女性が立ち入ることはできませんでした。18世紀後半に建てられたそうです。神聖な場所としてパラオ人が大切に守っているのがよくわかりました。

2023年度、パラオ公立小学校の1年

- 7月12日 1学期開始 → 9月15日 1学期終了 → 3週間休み
- 10月9日 2学期開始 → 12月15日 2学期終了 → 4週間休み
- 1月15日 3学期開始 → 3月14日 3学期終了 → 3週間休み
- 4月8日 4学期開始 → 6月12日 4学期終了 → 3週間休み

1つの学期が約10週間で、その後に長期休暇が3週（冬休みだけ4週）あることがわかります。

ちなみに各学期のラスト1週間はテスト週間です。そして、長期休暇に入って3日目くらいに保護者懇談があり、その学期の成績表を親に渡します。

筒井先生は来年の3学期終了後、日本に帰国し、新番丁小学校に戻る予定です。